

# ハクビシンの生態と対策

ハクビシンの名のとおり、鼻筋に大きな白い帯がとおっています。家ネコぐらいの大きさのジャコウネコ科の動物で、木登りが得意です。バランス感覚にも優れていて、電線渡りもお手のもの。樹上で生活することが多く、穴掘りは苦手とします。

## 生態

- 食性** 果実食中心の雑食性で、果実の他に昆虫類、ミミズ、小魚、トカゲ、ネズミなどを捕食します。
- 行動** 夜行性で、昼間はタヌキなどが掘った巣穴を利用し、夜になると里山や人家の周辺に出没します。また、高さ1m、幅1.2mくらいはジャンプして乗り越えられる能力をもっています。
- 繁殖** 年間を通して発情・出産します。妊娠期間はおよそ2ヶ月ほど。性成熟は2年ほどで、1度におよそ1~4頭を出産します。野生での寿命は7~10年ほどではないかと考えられています。

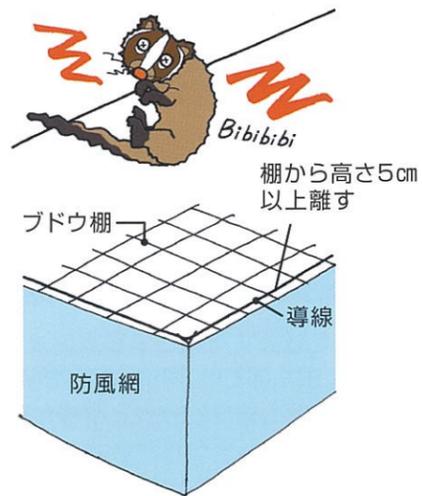
## 被害防止のためのワンポイント・アドバイス

### 1 分布域の拡大を阻止

木登りが上手く、バランス感覚の発達しているハクビシンは、低い侵入防止柵やネットでは、あまり効果がありません。また、防鳥網ぐらいでは食い破られますし、光、音、臭いも短期的な効果しかありません。

### 2 電気柵を工夫して使う

もっとも効果が期待できるのが、電気柵です。ブドウ棚上電気柵は、登ってくるハクビシンを棚上で撃退するもの。ただしブドウの新梢が伸び導線に触れると漏電を起こすのでこまめな管理が必要です。



### 3 ねぐらをつくらせない

ハクビシンはエサ場の近くにねぐらをつくります。よく被害を受ける周辺の建物で天井裏や壁のすき間などを点検してみましょう。寺社なども含め、建物のすき間をなくして、ねぐらをつくらせないようにしましょう。

**中型獣** こんなサインに要注意! **① 足跡** 足跡だけでは獣種を特定できないことが多いので、他の痕跡とあわせて総合的に判断してください。

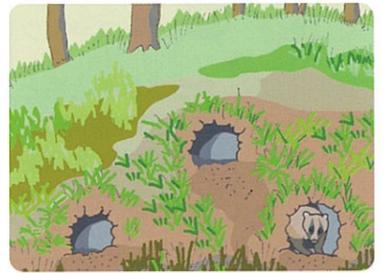
<b>ハクビシン</b>  指5本で短い	<b>タヌキ</b>  指4本で犬に似ている	<b>アナグマ</b>  指が短く、爪が長い	<b>アライグマ</b>  指5本で長い
----------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------

# アナグマの生態と対策

気性が荒く、猟犬でもアナグマに立ち向かう犬は一人前といわれるくらいです。眼光が鋭く、五本の爪はネコよりも鋭角、とくに前歯は刃物でも折る強じんさといわれています。雑食性で、人里近くで生活するので、捕獲しやすい動物です。

## 生態

- 食性** 雑食性でミミズや土壌性昆虫、地上に落ちた木の実などを採食します。時にはカエルやモグラ、ヘビ、小鳥なども食べることもあります。イチゴ、スイカ、ウリ類、トウモロコシ、稲など、野菜や穀類も食べます。
- 行動** 前足が太くて鋭い爪を持ち、穴掘りが得意で、土手の斜面や木の根もとなどに、枝分かれしたトンネル状の巣穴を掘って生活します。基本的に夜行性で、日中は巣穴で休息。母子を中心に6~7頭で集団生活し、単独で行動するオスは巣穴やエサ場を共有します。
- 繁殖** 繁殖は年1回で3月~4月。妊娠期間は約1年と長く、出産は翌年の3月~4月。1回で1~3頭を産みます。成長はとてもはやく、秋には独り立ちする個体もあります。



斜面地などに巣穴を掘って生活する

## 被害防止のためのワンポイント・アドバイス

### 1 定着させず、餌付けは絶対しない

被害を避けるためにはアナグマを定着させないことが肝心です。巣穴を見つけたら、いぶり出しや音・光を出す装置、番犬などを使って追い払いましょう。穴を掘っただけの生ゴミ捨て場があったり、野菜クズや落下果樹を放置したりすると寄ってきますので、エサとなるものは埋めるなど放置しないことが大切です。

### 2 柵の設置は低めに

ワイヤー式の電気柵を使う場合、地面から8cm、15cmほどの低い位置で2段の通電線を張ります。設置位置が低いと、下草が掛かって漏電しないように下草管理はこまめに行いましょう。トタンやネットを設置する場合は、穴を掘って侵入することもあるため、地面に30cmほど埋め込むとよいでしょう。

### 3 居場所をつくらせない

家や田畑の周りの斜面地やヤブの草刈りを行い、隠れ場所を減らしましょう。納屋や倉庫などのすき間をなくすることも必要です。

**中型獣** こんなサインに要注意! **② 糞** 糞も被害獣を特定するための重要なサインになります。

<b>ため糞する</b>	<b>ハクビシン</b>  エサにより色・形は異なる	<b>タヌキ</b>  糞粒の山になる	<b>アナグマ</b>  ため糞は小規模テカテカしている
	<b>ため糞しない</b>	<b>アライグマ</b>  エサにより色・形は異なる	